

成蹊会誌 51

1980年8月



夏の午後(50号) 吉村清英

成蹊学園概況 (成蹊学 総務課提供)

一 学校法人成蹊学園理事・監事

理事長	古賀 繁一	理事	○河野 義克	理事	廣瀬 三男
専務理事	新井益太郎	理事	○石坂 孝吉	理事	堀田 庄三
		理事	○岩崎 泰彦	理事	岡分 勇雄
		理事	○岩崎 寛弥	理事	○三橋 啓了
		理事	○上野 忠雄	理事	○宗像 英二
		理事	○大槻 裕也	理事	○鷲山 要
		理事	○小笠原光雄	理事	○佐々木 直
		理事	○奥住 正彦	理事	千頭 暎臣
		理事	○梶谷 玄	理事	○印は卒業生
		理事	同	理事	野田 彰

二 成蹊学園

学 長	朝倉 孝吉	文学部 部長	廣瀬 三男
経済学 部長	上野 裕也	文学部 部長	佐藤 竺
経営学 部長	三橋 啓了	法学部 部長	野田 彰
工学部 部長		成蹊高等学 校長	奥住 正彦
工学部 部長		成蹊中 校長	野田 彰
工学部 部長		成蹊小 校長	

三 近況

◇小学校中央館の竣工
成蹊学園施設建設募金の対象事業として、大学体育館に引き続き、昭和五十五年二月四日竣工式を執り行いました。
建物は、鉄筋コンクリート一部鉄骨造二階建、延床面積約一、五〇〇平方

所 属	教 職 員 数			在 学 生 数			
	専 任	非 常 勤	計	男	女	計	
大 学 院	工 学 研 究 科			43	0	43	
	経 済 学 研 究 科			2	1	3	
	法 学 政 治 学 研 究 科			15	0	15	
	文 学 研 究 科			5	8	13	
学 部	学 部 計						
	学 部 計	1					
	学 部 計	44			1,510	235	1,745
	学 部 計	93	260	471	1,103	39	1,142
	学 部 計	42			421	1,297	1,718
小 計	31			1,353	213	1,566	
高 等 学 校	47	24	71	577	349	926	
中 学 校	39	6	45	486	278	764	
小 学 校	32	3	35	463	289	752	
専 務・技 術・労 務 職 員	186		186				
合 計	520	293	813	5,985	2,709	8,694	

四 教職員及び在学生数 (昭和五十五年五月一日現在)

方米で一階は保健室、自治会室、面談室、事務室等、二階は多目的教室、教材室、放送室をはじめ校長室、教員室等が設けられております。
総費用 二億八千三百万円

◇中学・高等学校第二体育館(仮称)新築工事

募金対象事業として、小学校中央館に続き、去る五月二十一日地鎮祭を執り行ない、直ちに着工しました。完成は、昭和五十六年三月の予定であります。

※本年度中に、大学図書館書庫、大学講義室、西部室一号楼(工事中)、同三号楼の着工を予定しております。

◇施設建設募金状況(昭和五十五年五月末日現在)

卒業生	一、二〇〇件	三千拾万円
在校生父兄	二、二八二件	二億五千百万円
法 人	一〇五件	二億、百六拾万円
教職員関係	四〇六件	九百九拾万円
申込金額合計		四億九千三百六拾万円
(内)入金額合計		四億八千七拾万円

◇昭和五十四年度決算概要について

昭和五十四年度の資金収支計算では、前受金、前期末前受金等を除いた実質的な収入は六十二億八千万円で、これに対して期末未払金、前期末未払金等を除いた実質的な支出は五十七億三千八百万円となり、この差額五億四千二百万円は次年度繰越支払資金の増加となりました。

近年学園財政は漸次健全化の方向にあります。これは納付金収入が順次増加したことに加え、経費節減等によるところが大きいです。

収入の主なもの、納付金四十一億七百万円、補助金十一億二千三百万円、寄付金四億、千七百万円等でありました。

一方支出では人件費の三十四億三百万円が大きく、このほか教育研究、管理経費を合わせて九億三千万円、施設、設備関係の小学校中央館建築費二億四千六百万円が含まれています。近年借入金も順次減少し、当年度末の借入金残高は九億四千万円となっております。

五 昭和五十五年度入学試験状況

大 学 院	募集人員	志 願 者	受 験 者	合 格 者	倍 率	各 学 部 からの	高 等 学 校 からの
						成 蹊 学 校 推 薦 者	外 部 推 薦 者
大 学 院	経済学部	300	4,790	4,499	700	6.4	81
	工学部	200	3,651	3,209	510	6.3	5
	文学部	300	5,915	5,342	746	7.2	35
	法学部	300	6,348	5,842	747	7.8	26
計	1,100	20,704	18,892	2,703	7.0	147	
高 学 校	約 60	232	215	100	2.2	244	—
中 学 校	約 110	400	395	117	3.4	134	—
小 学 校	114	616	480	114	4.2	—	—
合 計	1,384	21,952	19,982	3,034	—	525	157

○成蹊学園維持会委員（5月20日・理事会）

- 丹治 道生（成蹊会会長） 谷岡喜久蔵（成蹊会常務理事）
- 後藤 精一（池袋同窓会会長） 生野 専吉（旧高同窓会会長）
- 石坂 泰彦（政経学部同窓会会長） 梶谷 玄（高校同窓会会長）

○財務委員会正・副委員長（5月2日・財務委員会）

- 委員長 田山 正男（旧高1）
- 副委員長 高野 健次（旧高17）

○育英奨学・学術教育研究委員会正・副委員長

（5月8日・上記両委員会）

- 委員長 井本 農一（旧高6）
- 副委員長 岩崎英二郎（旧高15）

○副会長（5月20日・理事会）

- 生野 専吉（旧高6）

○理事・監事（5月26日・評議員会）

- 理事 生野 専吉（旧高6）
- 監事 山中 良平（政経6）

三、会費（改定）

○年会費（刊行物代）改定（2月1日・理事会）

従来の年会費（現行年額一、〇〇〇円）と刊行物代（現行年額八五〇円）を一本化し年会費（刊行物代）として一年一、〇〇〇円（二年分一、〇〇〇円前納）に改める。

昭和55年4月1日から実施

四、特別委員会設置

○成蹊会学術・教育研究委員会（規程並びに助成要項別記）を設置

（45年5月21日・理事会）

○成蹊会広報委員会（規程別記）を設置（55年5月20日・理事会）

五、規程（制定・変更）

○成蹊会学術・教育研究委員会規程（54年5月21日・理事会）

社団法人成蹊会学術・教育研究委員会規程

第一条 学術・教育研究委員会（以下「委員会」という。）は社団法人成蹊会（以下「成蹊会」という。）の理事会において選任された十名以内の委員をもって組織し成蹊学園教員の学術および教育研究の助成を行う。

第二条 委員の任期は二年とする。ただし再任を妨げない。

2、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3、委員の過半数は学識経験者をもってあつて。

第三条 委員会に委員長および副委員長各一名を置き、委員の互選によって定める。

2、委員長は委員会を招集し委員会の会務を総理する。

3、副委員長は、委員長を補佐し、委員長が欠けたとき又は委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

第四条 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ議事を開き議決することができない。

2、委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

第五条 委員会の事務を処理させるため、委員会に事務局を置く。

第六条 委員会は、助成金等重要な事項を決定したときは成蹊会理事会に報告しなければならない。

第七条 この規程施行についての要項は成蹊会理事会およびこの委員会の議決を得て別に定める。

（昭和54年5月21日施行）

○成蹊会学術教育研究助成要項（54年5月21日・理事会）

社団法人成蹊会学術・教育研究助成要項

第一条 本要項は、社団法人成蹊会学術・教育研究委員会規程第一条に定める、成蹊学園教員の学術および教育研究の助成を行なうための細目を定めるものとする。

第二条 成蹊会は、前条に掲げる目的を実施するため、本要項に定められた手続により、成蹊学園に勤務する専任教員に研究助成金を贈呈する。

があるときはその職務を代行する。

第五条 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、議事を開き議決することが出来ない。

2、委員会の議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

第六条 委員会の事務を処理させるため委員会に事務局を置く。

第七条 委員会は広報活動及び刊行物等の編集について重要な事項を決定したときは、成蹊会理事会に報告しなければならない。

（昭和55年5月20日施行）

○成蹊会成蹊クラブ委員会規程の一部変更（55年5月20日・理事会）

社団法人成蹊会成蹊クラブ委員会規程

第一条 社団法人成蹊会（以下「成蹊会」という。）の会員の研修及び親睦を図るため、成蹊会に成蹊クラブ（以下「クラブ」という。）を設置する。

第二条 クラブは東京都千代田区有楽町二丁目二番三号 ニュートリキョービル七階に置く。

第三条 クラブを利用できる会員は成蹊会の正会員、特別会員及び名誉会員とする。

第四条 クラブの運営を行わせるため、成蹊会にクラブ委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第五条 委員会は委員十名以内で組織する。

2、委員は成蹊会理事会が選任する。

3、委員の任期は二年とする。ただし再任を妨げない。

4、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第六条 委員会に委員長及び副委員長各一名を置き、委員の互選によって定める。

2、委員長は委員会を招集し委員会の会務を総理する。

3、副委員長は委員長を補佐し副委員長が欠けたとき、又は委員長に事故があるときはその職務を代行する。

2、委員長は委員会を招集し委員会の会務を総理する。

3、副委員長は、委員長を補佐し、委員長が欠けたとき又は委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

第四条 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ議事を開き議決することが出来ない。

2、委員会の議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

第六条 委員会の事務を処理させるため委員会に事務局を置く。

第七条 委員会は広報活動及び刊行物等の編集について重要な事項を決定したときは、成蹊会理事会に報告しなければならない。

（昭和55年5月20日施行）

○成蹊会成蹊クラブ委員会規程の一部変更（55年5月20日・理事会）

社団法人成蹊会成蹊クラブ委員会規程

第一条 社団法人成蹊会（以下「成蹊会」という。）の会員の研修及び親睦を図るため、成蹊会に成蹊クラブ（以下「クラブ」という。）を設置する。

第二条 クラブは東京都千代田区有楽町二丁目二番三号 ニュートリキョービル七階に置く。

第三条 クラブを利用できる会員は成蹊会の正会員、特別会員及び名誉会員とする。

第四条 クラブの運営を行わせるため、成蹊会にクラブ委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第五条 委員会は委員十名以内で組織する。

2、委員は成蹊会理事会が選任する。

3、委員の任期は二年とする。ただし再任を妨げない。

4、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第六条 委員会に委員長及び副委員長各一名を置き、委員の互選によって定める。

2、委員長は委員会を招集し委員会の会務を総理する。

3、副委員長は委員長を補佐し副委員長が欠けたとき、又は委員長に事故があるときはその職務を代行する。

第七条 委員会は委員の半数以上の出席がなければ議事を開き議決すること
ができない。

2、委員会の議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長
の決するところによる。

第八条 委員会の事務を処理させるため委員会に事務局を置く。

第九条 クラブ事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため公益法人の附
帯事業としてクラブ事業特別会計を設置し、成蹊会の一一般会計と区分して
経理する。

第十条 この会計は、成蹊会の定款及び規程の定めるところにより、並びに
成蹊会理事会の指示に従いクラブ委員会が管理する。

第十一条 クラブ委員会は、毎会計年度、この会計の収支決算報告書を作成
し、成蹊会理事事に報告しなければならない。
(昭和34年8月14日施行・昭和55年5月20日変更)

六、事業

○成蹊会誌発行 (12月10日) 成蹊会誌第50号(49ページ)

○催物

1 第57回枯林忌(2月16日)

成蹊学園創立者中村春二先生のお墓参りと追悼会

(単、鴨染井墓地・三菱スポーツセンター)

2 第3回成蹊校祭(4月6日)

桜祭実行委員会主催(成蹊会後援)

○後援金

1 大学祭 一〇万円

2 日本寮歌祭 一五万円

3 成蹊高校セントポール校三十年記念事業 三〇万円

4 成蹊柔道部友好訪問 五万円

5 全国高校選抜庭球大会 二・五万円

6 成蹊マッキンレー登山隊 三万円

○卒業生名簿

1 政経学部・ブレメ同窓会名簿(12月1日)

2 池袋・やよい会・旧制高校同窓会名簿(12月10日)

3 工学部同窓会名簿(12月10日)

4 文学部同窓会名簿(12月10日)

余白をかりて

○暑中お見舞申しあげます。本誌の
表紙は盛夏に相応しく、吉村清英
元林野庁長官画く「夏の午後」を
カラー刷りしてお届けする。表
紙裏の説明によれば、この画は、
成蹊高校二年(昭和四年)のとき
の「光風会入選作品(レイトン賞
受賞)だそうで、驚くべき画才で
ある。

○前号(第50号)は郵便切手に選ば
れた、草川信先生の「夕やけこや
け」を表紙に飾ったが、この師と
いい、この弟子といい、芸術的分
野においても、親部たる成蹊教育
の格調が窺われる。

○師といえは、津田弘孝氏(日本交
通公社社長)と相川泰吉氏(三菱
瓦斯化学社長)は本文中、成蹊で
「良き師」に恵まれたことを述懐
しておられるが、人材の出ずると
ころ「良き師」ありの感を深くす
るものである。

○今春、専務理事、大学長、学部
長、校長など、学園幹部の新人事
が、夫々の先生から玉稿を頂
戴した。学園教育の成果が、「良
き師」によって結実するとすれば、

その任の重きこと、察するに難く
ないが、なお一層のご尽力をお願
いするものである。

○このときに、佐藤庸法学部教
授の急逝は、同学部の中心的存在
であっただけに惜まれてならな
い。このほか物故会員欄に入られ
た二十五名の同窓が鬼籍に入られ
た。謹んでご冥福をお祈りする。

○福與正治先生(文学部教授)率い
る成蹊柔道部中国遠征記は、成蹊
の運動部にとって近頃の快挙であ
る。さきに、渡辺兵力氏(旧高8
回)はチヨモランバ(エベレスト
の中国名)登山隊長として、日本
山岳史に不朽の名をとどめ、近く
は、成蹊大学
山岳部員が中
心となって、
マッキンレイ
(アラスカの
最高峰)登頂
に出発すると
いう。国際舞
台で大いに天
翔けてもらい
たいものであ
る。

昭和55年8月1日
編集兼発行人 谷岡喜久蔵
行所 社団法人成蹊会
〒180 武蔵野市吉祥寺北町3-3-1
電話 0422-51-2244